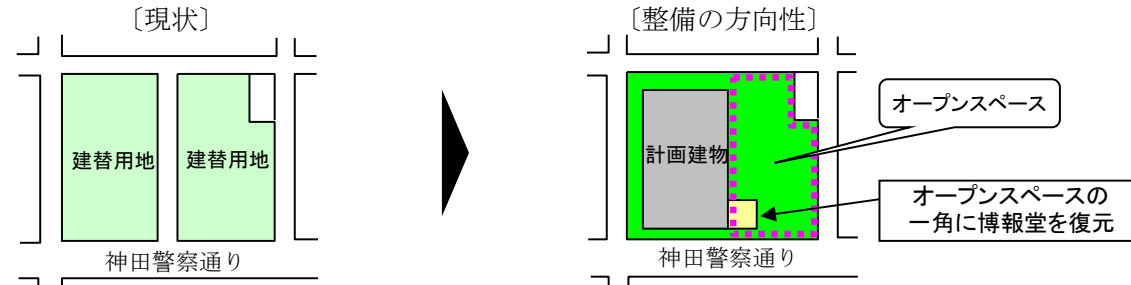


博報堂建替用地の整備の方向性

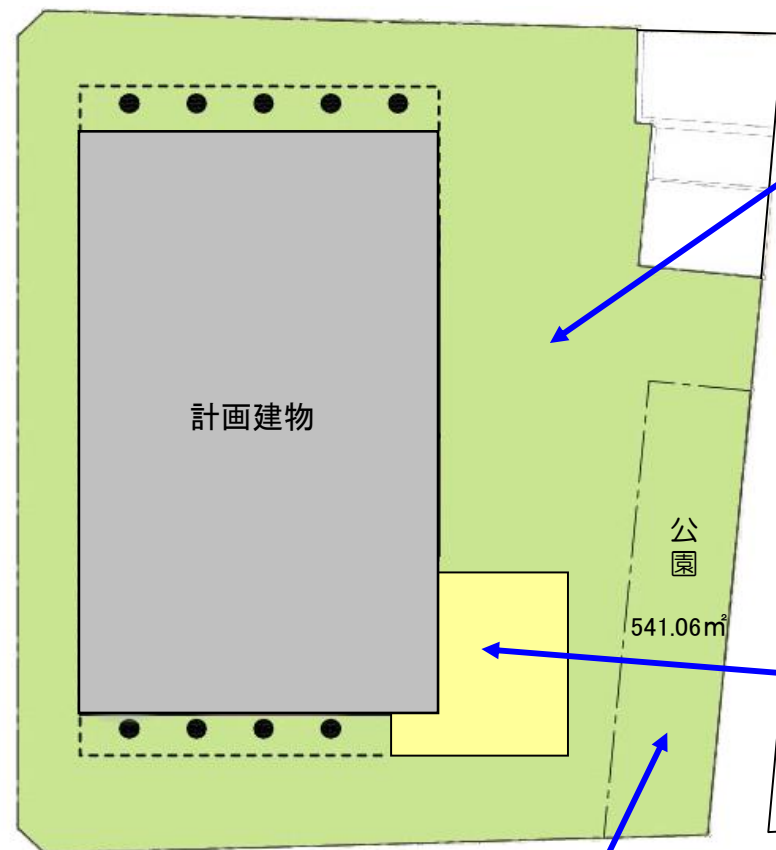
- ① 2つの街区が同時期に機能更新される機を捉え、街区を一体化
 - ・まとまったオープンスペースを確保（災害時は地域の防災拠点とする）
 - ・博報堂を復元し、神田警察通り沿道のシンボリックな存在としていく



- ② 区道については、公園に用途変更しオープンスペースの南東部に整備

◆博報堂建替用地の整備計画（案）

計画(案)



オープンスペースの確保

- ① みどり豊かで人々が憩えるまとまったオープンスペースの確保
- ② イベント等の地域活動に活用できるしつらえ
- ③ 災害時における防災広場としての活用（防火水槽、マンホールトイレ）
- ④ 歴史的建造物との一体的整備によるオープンスペースの付加価値の向上



オープンスペース（イメージ）

博報堂の復元

- ① オープンスペースの中に位置することにより、まちのシンボルとしての存在を際立たせる
- ② 地域情報発信スペースとして活用（平常時は地域情報、災害時は防災情報の発信）
- ③ イベント時は、オープンスペースと一体活用が可能



博報堂復元（イメージ）

区道の用途変更

- ① 区道については、公園に用途変更
- ② 公園の位置は、オープンスペースの南東部に整備することにより博報堂の視認性を確保
- ③ 建物整備によって創出される公開空地と一体となった空間を確保

建物内の機能

〔 1階 〕

- ・博報堂の復元部分に地域情報発信スペースを設置（神輿の展示、地域観光・歴史情報の発信、情報モニターなど）
- ・防災機能の充実（防災備品倉庫、消防団倉庫）
- ・店舗を設置することにより神田警察通りの賑わいを創出
- ・誰もが使用できる駐輪スペース



地域情報発信（イメージ）



神輿の展示（イメージ）

〔 2階 〕

- ・店舗を設置することにより神田警察通りの賑わいを創出

〔 3階 〕

- ・ホールや会議室の設置により地域、大学、企業等の交流を促進（災害時は、ホールや会議室を帰宅困難者受入れに活用）
- ・防災機能の充実（防災備蓄倉庫）



会議室（イメージ）

〔 地下 〕

- ・誰もが使用できる駐車スペース、荷捌きスペースを確保